

大会名 Competition	第47回東北中学バスケットボール大会 【男子予選リーグ】			
No. D-2	Year	Month	Day	Time
	2017	年	8月	9日 10:20
場所 Place	CNAアリーナ★あきた			

秋田県中学校体育連盟
秋田県バスケットボール協会

チームA		チームB										
山形第六		五橋										
55		47										
○		●										
	<table border="1"> <tr><td>19 1st</td><td>10</td></tr> <tr><td>15 2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>13 3rd</td><td>15</td></tr> <tr><td>8 4th</td><td>6</td></tr> <tr><td>- OT</td><td>-</td></tr> </table>	19 1st	10	15 2nd	16	13 3rd	15	8 4th	6	- OT	-	
19 1st	10											
15 2nd	16											
13 3rd	15											
8 4th	6											
- OT	-											

主審:Referee 鈴木 隆 福島県
副審:Umpire 高橋 嘉史 秋田県
テーブルオフィシャル:Table officials
秋田市立秋田南中学校・飯島中学校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	漆山 蓮	CAP	23	1	8	4	3	4	×	峰田 和也	CAP	5	1	0	2	5
5	×	井上 喬介		10	2	2	0	1	5	×	村上 太陽		9	1	2	2	1
6	/	川合 皇也		0	0	0	0	-	6	×	上野 大介		12	0	5	2	3
7		伊藤 昇馬		-	-	-	-	-	7	×	秋月 晃樹		8	0	4	0	5
8		渡辺 岳斗		-	-	-	-	-	8	/	阿部 翔太郎		0	0	0	0	1
9	/	酒井 悠斗		0	0	0	0	-	9	×	廣瀬 敏志		13	0	6	1	4
10	×	田中 晴瑠世		8	0	4	0	4	10		中澤 太還		-	-	-	-	-
11		吉田 龍翔		-	-	-	-	-	11	/	立花 翔陽		0	0	0	0	2
12		井上 芳真		-	-	-	-	-	12		伊藤 龍之介		-	-	-	-	-
13	×	足立 翔		7	0	2	3	3	13		工藤 大和		-	-	-	-	-
14	×	高橋 拓生		5	0	1	3	3	14		吉野 雄太		-	-	-	-	-
15		神保 優斗		-	-	-	-	-	15		永沼 弘大		-	-	-	-	-
16		森 成雅		-	-	-	-	-	16		鶉橋 一帆		-	-	-	-	-
17		浅野 弘斗		-	-	-	-	-	17		上野 龍希		-	-	-	-	-
18	/	加藤 律輝		2	0	1	0	1	18		栗田 慧雅		-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-
監督		遠藤 寿浩							監督		加藤 篤洋						
コーチ		沼澤 靖浩							コーチ		曾根 敏幸						
合計				55	3	18	10	15	合計				47	2	17	7	21

※×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P射撃 2P:2P射撃 FT:フリースロー F:ファウル

緊張からかお互いに得点のないままゲームが流れ、開始から2分過ぎに、ようやく五橋が#9廣瀬のジャンプシュートで先制。すぐそのあと山形六の#4漆山のジャンプシュートで追いつくと、スリーポイントを含む5連続シュートで11対2と五橋を突き放す。その後は、一進一退の攻防が繰り広げられ、第1Qは、19対10で山形六リードで終了。

第2Q開始直後に、#4漆山のドライブからのシュートで先制した山形六は、#5井上(喬)のスリーポイントシュートなどで、徐々に点差を広げる。しかし、山形六のチームファウルが、5つをカウントしたあたりから、流れが徐々に五橋に傾く。五橋の#6上野(大)のリバウンドからのシュートや#5村上のスリーポイントシュートなどで点差を詰め、最終的に34対26の山形六リードで前半を折り返す。

後半は、山形六のリバウンドからのゴール下シュートで試合が動く。五橋はゴール下を必死で守るが、残り4分を過ぎたところでチームファウルが5つを超え、山形六はフリースローを確実にものにする。五橋も#9廣瀬の3連続インサイドのシュートで得点を重ね、第3Qは五橋が追い上げて第4Qにつなげた。

第4Qは、五橋#7秋月のドライブで先制すると、#6上野(大)のポストプレーで得点し、一時は2点差となる。ピリオドも半分を過ぎたところで、両者得点が止まったが、山形六の一年#18加藤の得点から再び試合が動き出す。残り2分を切ったところで、五橋#7秋月がファウルアウト。その後も五橋のファウルが続き、ファウルで得たフリースローを確実に決めた山形六が、55対47で粘る五橋を振り切った。

両者とも粘り強いゴール下のリバウンド争いが印象的なゲームであった。